

# 市長が飛び出す未来トーク

## 【「つなぐわ」-大垣を中心とした子どもの居場所ネットワーク-】

と き /令和4年2月10日（木）10:00～11:00

ところ /大垣市役所本庁舎4階・情報会議室

参加者 /6人



### 1 内 容

市長あいさつ、「つなぐわ」-大垣を中心とした子どもの居場所ネットワーク・松村副理事長あいさつの後、本市の施策方針・取組状況について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

市長講演では、市未来ビジョンを軸とした市の施策の方針・取組状況について15分程度の講演を行いました。

意見交換では、出席者が参加している団体活動の近況や課題などに関する発言があり、市長が、それぞれに対して思いを述べました。

閉会にあたり、市長が「未来の大垣を担う子どもをご支援いただいていることに改めて感謝申し上げますとともに、活動やノウハウがさらに各地域に広がっていくことを期待します。今後も地域で活動される皆さんの声をお聴きし、大垣市未来ビジョン第2期基本計画に反映してまいりたい。」と述べました。

## 2 意見交換詳細

内容	団体側発言	市長発言
<p>① 和っとひろば @西地区について</p>	<p>4年前に始めた活動が、現在では220組の親子が参加しており、我々だけでは支えきれない規模になってきた。</p> <p>フードバンク事業として様々な食材を提供してもらっている。それを子ども達に循環させ多くの笑顔を見られるとこちらが元気になり、やっつけて良かったという思いになる。</p> <p>同学年だけでなく縦割りの関係で遊ぶことも大切だと考える。特に、学童を退室して、長期休暇に一人もしくは兄弟だけで一日中家で留守番する子ども達のために、夏休みの居場所づくり活動もスタートさせた。</p> <p>市長に現場を見に来ていただけたことはとてもありがたい。</p>	<p>市民団体の皆さんが市の施設を活動の場とされていることも多く様々なご意見をいただいている。今後も、より使いやすい施設になるように、皆さんの意見を伺っていきたい。</p> <p>3月に新たなNPO団体を設立される予定とのことなので、皆さんのそのパワーで、今後全ての地域に活動が広がることを期待する。</p> <p>市も協力させていただきたい。</p>
<p>② みんなの未来をつくる会について</p>	<p>学校教育の場における「対話」をテーマに活動を始めた。「対話」がないと、子ども達がどこで誰がどんな状態か、本当の実態は見えてこない。</p> <p>子ども達に心豊かな環境を整備することは、子ども達が30年後に働き盛りになった将来に大垣を選び大垣を担ってくれることにつながると思う。そのために私は地域を巻き込んで活動していきたい。</p>	<p>色々な講師を招き自他の研鑽に努めてみえるとともに、市民活動助成を経て、しっかり地域に根差し自立した活動に発展されたパワーに感服する。</p> <p>我々の子ども時代と比較すると、核家族化、地域の関係希薄など社会が大きく変化している。保護者の負担を軽減するため、地域で居場所づくりを行っていることは非常に頼もしく、皆さんの活動をフォローできる行政でありたい。</p>

内容	団体側発言	市長発言
③ あしたの支援室について	<p>家庭の事情等により、貧困状態にある子どもは、勉強に集中できる環境にないことも往々にしてあり、居場所づくりの活動をする上では学習支援を兼ね備えた場所であると良い。</p> <p>単純に「物」を与えるのではなく、こうした環境にある子どもの「心」を支え、将来社会人として地域を担う存在になれるよう寄り添わねばならない。</p> <p>また、ひきこもり、不登校、発達障がい児も増えている。</p> <p>まずは実態を把握して初めて何ができるかを考えられる。少しずつで良いので歩んでまいりたい。</p>	<p>現在、長引くコロナの影響で生活上の困難に直面した方々への支援策として「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」を支給させていただいている。</p> <p>ただ、こうした行政が実施する施策や調査では見えない実態があると思う。そうした状況を把握するため、まずは私が現場を直接見て皆さんと共有することが重要と考える。</p> <p>大垣市未来ビジョン第2期基本計画の策定をはじめ、今後の政策を考える上でも大いに参考にさせていただく。</p>
④ さなぎの杜（大野町）について	<p>「さなぎの杜」は、大野町から「R4年度大野町子どもの居場所相談強化事業」の受託予定である。</p> <p>これは、内閣府「子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業」を活用し国補助率10/10の事業である。</p> <p>なお、我々の活動で町施設を利用する際は使用料免除である。</p> <p>行政が直接事業を行うのは難しいかもしれないが、市内でこうした活動を行っている団体を大いに活用してほしい。</p> <p>施設使用料についても継続的な審議をお願いしたい。</p>	<p>大垣市は地域活動の拠点として地区センターを活用していただいている。ただ、様々な世代の方が利用され利用率が高いため、適宜公民館等も活用されていると認識している。</p> <p>地区センター使用料の課題については、指定管理施設であるという点から直ちに免除にできるわけではないが、まずは、私が皆さんの現場に直接お邪魔し、様々なご意見をお聴きすることが重要だと考えている。市町を越えたネットワークでこれからも団体間の情報共有を図っていただきたい。</p>

内容	団体側発言	市長発言
<p>⑤ わが子の成長を見守る会について</p>	<p>不登校児を見守る親の会として活動を行っている。</p> <p>教育総合研究所について、相談の際に学校から予約を取ってもらわないといけない点や、職員が教員だからか、相談というよりこちらが審査される立場のように感じ、行きにくい場所という印象を持った。この経験からもっと気軽に相談できる場所があればと思い活動を始めた。</p> <p>各地域にこの活動が広がってほしい。子ども達が、自分の意志、自分の足で行ける範囲に、食事、学習、相談ができる拠り所の「場所」があり、心理士など専門的見地から判断ができるスタッフを配置できるとな嬉しい。</p> <p>今回のような懇談の機会を教育委員会の方ともさせてほしい。</p>	<p>厳しい意見を真摯に受け止め、ご意見は教育委員会に伝える。先生と生徒という立場だとどうしても固くなるかもしれない。</p> <p>同所の職員について、近年、教員以外の任用も増やし、相談しやすい環境整備に努めている。</p> <p>保健室登校・校長室登校・研究所登校の児童生徒に具体的にどのような支援ができるのか、今後の課題として受け止めたい。</p> <p>地区センター使用料については、運営が各地区センター運営委員会のため、同委員会が地域内での皆さんの活動をどのように位置づけるか、という観点になってくる。今後、地区センターの在り方等を含め、同委員会とも調整してまいりたい。</p>
<p>⑤ よっといで！ @北地区について</p>	<p>和っとひろば@西地区での約3年の活動を経て、12月に北地区で子ども食堂を始めた。</p> <p>林町会館を活用している。</p> <p>1回目150人、2回目80人の参加者があり、やはり北地区にも需要があると感じた。また、中高生がボランティア活動として参加してくれている。さらに今後、自治会の方からの協力も得られそうなので、地域ぐるみの活動として新たな交流の場になることを願う。</p>	<p>西地区での活動が北地区に、と横展開の広がりを見せた事例であり、非常にありがたく思う。</p> <p>おっしゃる通り地域の方と連携して活動していただけることが、活動が根付く一番の早道なのかもしれないと感じる。私からも自治会長に働きかけをさせていただく。</p> <p>皆さんが培われたノウハウを十分に生かしていただき、こうした取り組みがさらに他地域にも広がることを期待する。</p>